

「知らないことがいっぱい、日々勉強」

私は、団委員、カブ隊のデンダッド（デンリーダー）や副長をしていたときに、ボーイスカウトは簡単じゃないかと活動内容を少し馬鹿にしていました。常識的な範囲でできることはあります。でも、ウッドバッジ研修所に参加してから、考え方が変わりました。ボーイスカウトの組織、規模、教育理念など知らないことばかりです。やがて、ボーイ隊の副長になると自然の中での活動が増えました。キャンプとなると全く知らないことばかりです。基本をしっかり覚えないとボーイスカウトの活動についていけないと感じました。

ウッドバッジ研修所に参加する時は、ロープ結びを全部覚えることって書いてあります。真面目に練習しました。東京に出張する時は、練習用ロープと「ロープむすび」の本を持って新幹線の中で覚えました。やればやるほど面白い。今でも一番好きなのは「馬つなぎむすび」です。引きとけ結びが2つ組み合わせてあります。馬がひっぱれば、ロープが締まり外れない。外す時は引きとけ結びを引っ張れば、スルット外れてしまう。「なーるほど、おもしろいわ」です。本結びと同様に手品のような結び方ですね。西部劇を見ているもここまできっちり手綱を繋いでいないようですけどね。ロープ結びを覚えても、生活の中では、なかなか利用できる場面はないですが、色々できることは密かな自慢ですね。本結びだけで遊べるし、楽しいです。研修所のゲームで、カブ課程では太い丸太を運ぶゲームがありました。丸太結びを使います。ボーイ課程では班旗立てがあり、巻き結びとトートラインヒッチを使います。ロープ結びを覚えていてよかったです。

あの手旗も頑張りました。3年間ほど全くわからない。研修所のポイントハイクでも屋根の上で手旗で発信していることがさっぱりわからない。そこで、自分で勉強することにしました。理屈がわかったら、教え方も研究して、少しずつ楽しく覚えられるように開発しました。ボーイ隊の副長の時に、数年間スカウトに対して、年末の29日と30日の午前中に「手旗教室」を大曽公園で行いました。50音順でなく、各原画から始める文字を順番に教えた後、矢継ぎ早やに間違いやすい文字をランダムに何度も何度も繰り返してすぐに答えられるまで続けます。左手の白旗を上には上げるのは「エッチ」と覚える。「エ」と「チ」は、通常の赤旗ではなく、白旗を上には上げると教える。スカウトは覚えるのが早いんですね。2時間で自分の名前までできるようになります。私と手旗で言葉を3回続けて交換できたら合格です。あるスカウトは、このテストを40分続けて行いました。合格しないから終わらないけど、本人も音を上げない。心を強くして妥協せずに続けました。体がすっかり冷えてしまい、スカウトが帰ったあとで、お母さんに「頑張りましたよ。家に帰ったら風呂に入れてあげてください」と連絡しました。

私は、フォームに厳しいですから、全員がきれいな形で手旗を打てるようになりました。たくさん弟子ができてうれしいです。自分で言うのはどうかと思いますが、2団でも1

番か2番にフォームは美しいと思います。ところが、教えたスカウトは手旗がきちんとできるようになります。でも、私自身は、手旗を打つのはできますが、読むのが上達しませんでした。それを克服するには、手旗の動きを掲載しているある団のHPを参考にしました。長い文面を5通りぐらいやっています。それを見ながら何度も読む練習をしました。それでも、映画で突然手旗が出てくると、100%は読めませんね。

先日5団の団委員長に「団委員長は手旗を知っていますか」と聞くと「知っているよ」と言います。じゃあと親子ハイクでやった「箕面ビジターセンター」をやるとすべて読めました。知っていると、お互いが楽しくなりますね。

また、スカウトに教えてあげたいです。要請があれば、年末にやりますよ。

他にも知らないことはいっぱいあります。ボーイスカウトは研修が多く、2団はほくせつ地区で延べ受講者数がだんとつに多いです。私は、安全フォーラム（6回）、パトロールシステムの理解、自然体験指導者養成、「ちかいとおきて」、セーフ・フロム・ハーム、発達障害のある青少年への支援、救急法等の参加記録が残っています。

ボーイスカウトだからこそ、社会で役に立つことを学ぶことができるのですね。

感謝です。